

しんぷくいけんみんか

みよしたつじ

新福井県民歌

三好達治

一 長江は野に横たはり
ちようこう の よこ (わ)
あおうみ みさき (とう)

青海は岬にうたふ
えいせい わかさ

国どころ 越前若狭
くに えちぜんわかさ

たたなはる 山しうるはし
(わ) やま (わ)

二 秋の日の垂り穂ゆたかに
あき ひ た ほ (ろ) うみ (ず)

いや足らふ海のいろくづ
はたおさ おと さち (わ) う

機杼の音も幸はふ
く に えちぜんわかさ

うまし国 越前若狭
(二) あたら

三 こゝにして 新しき世は
よ か おこ

ふるき世に替わりて興る
あなさやけ 天つ日のもと
あま ひ

新墾の道はるかなり
にいはり みち

大きな流れの川は平野に横たわり
おお なが かわ へいや よこ

青々とした海の波が岬にぶつかり歌うように音をたてる
あおあお うみ なみ みさき うた おと

私たちのふるさと越前、若狭
わたし えちぜん わかさ

連なっている山々も美しい
つら やまやま うつく

秋の日の光を受けて、稲穂は豊かに実り
あき ひ ひかり う いなほ ゆた み

海の幸はいよいよ豊漁となっている
うみ さち ほうりよう

機織りの音もますます盛んに聞こえてくる
はたお おと さか き

すばらしい国よ、越前、若狭
くに えちぜん わかさ

こうしてやってきた新しい時代は
こうして やつてきた 新しい時代は

古い世の中に替わって栄えていく
ふる よ なか か さか

ああ、澄み切った日の光のもとで
ああ、 澄み切った日の光のもとで

さらにさらに新しく切り開いていくのだ
さらにさらに 新しく切り開いていくのだ